

## 令和2年度事業報告

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

### (事業の概況)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大という未曾有の事態に直面し、当センターの運営においても、事業の中止や事業内容の大幅な見直し等を余儀なくされ、入場者数、売上額ともに前年度を下回る結果となった。

国による緊急事態宣言の発令と外出自粛要請を受けて、例年多くの行楽客で賑わうゴールデンウィーク期間を含め、1カ月超にわたり盛岡手づくり村として臨時休館を行うこととなり、コロナ収束後の需要回復に備えたものの、感染拡大の第2波、第3波が広がり、各地で催事の休止等が相次ぎ、夏休み期間や秋の行楽シーズンにも人出が戻ることはなかった。

こうした状況の中、新型コロナウイルス感染症の予防対策に万全を期しながら、盛岡広域8市町や関係団体等と連携し、地場製品の紹介と普及啓発、体験学習、資料展示等の事業に取り組む一方、施設の賃貸、地域外商品やアロニア関連商品の販売、各種地場製品の普及宣伝、体験学習を通じたキャリア教育、人材育成事業等を実施した。また、新型コロナの影響による経営の悪化を防ぐため、国の持続化給付金の申請を行うとともに、運営資金の確保に努め、冷暖房設備等の施設修繕を行うなど、センターの安定運営と事業の継続を図った。

主な事業としては、盛岡市の緊急経済対策により実施した、県外に進学した学生に地元特産品の詰め合わせを送付する「もりおかエール便」が反響を呼び、好評を博したほか、秋以降は、国のGo Toトラベル事業の開始とともに観光需要が回復に転じ、旅行客の入込と県内外の小・中学校の修学旅行受け入れが集中したほか、年末年始は盛岡市の経済対策事業である「特産品消費拡大支援事業」(商品30パーセント割引キャンペーン)、盛岡市内の特産品を購入した際の送料を無料とする事業等を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きな打撃を受けた地域経済の回復と業界の振興に取り組んだ。

これらの取組によって、入場者数は対前年比41.6%となる約15万6千人にとどまったものの、売上額は同96.3%となる約1億6千万円超に達し、ほぼ前年度に近いレベルを維持することができた。しかしながら、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の道筋は見え、地域経済と地場産業にとって厳しい局面が続いている。

### 1 地場産業振興事業(公益目的事業)

公益目的事業として、地場産業の振興と人材の育成に資するため、地場製品の紹介と普及啓発、手づくり教室体験、盛岡地域の地場産業への理解と共感を深める展示資料室の運営、手づくり産業の後継者が行う新商品開発や市場開拓の支援等に取り組んだ。

#### (1) 地場製品紹介普及啓発事業

本事業は、盛岡広域で生産される国指定伝統的工芸品をはじめ各種工芸品、食品等の地場産品を国内外の消費者に紹介し、普及啓発を図ることを目的とするが、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月24日から5月31日まで盛岡手づくり村全館を臨時休業し、修学旅行をはじめとする一般・団体旅行の縮小、国内や海外からの旅行者数の激減、物産展等の中止により、大幅な事業内容の見直しを余儀なくされた。

外出自粛による入場者の激減と店舗の対面販売が伸び悩む中、社会的なステイホームの動きに応じ、オンラインショップを改修し、インターネット環境による購買需要に対応した。また、盛岡市の経済対策事業である「もりおかエール便事業」「特産品消費拡大支援事業」「市内特産品販売促進事業」を通じて、地場製品の宣伝・販売を実施した。

#### ア 展示即売事業

- ・展示即売室に「盛岡広域ベストセレクション」コーナーを設置し、盛岡広域8市町の新商品や食品、工芸品の紹介を行い、地域商品の宣伝を行った。
- ・展示即売室ポスシステムの情報を活用し、出店事業者に対し、月毎の販売状況の概要と分析、販売計画等の情報提供を行った。
- ・ギフトシーズンの6月と12月に、贈答品として需要が高い地場産品を取り揃え、即売室にギフトコーナーを設置するとともに、カタログを作成した。また、盛岡手づくり村のホームページにギフトカタログを掲載し、来店しなくても商品を購入できる仕組みを整え、地場産品の普及、宣伝に努めた。
- ・ロビー空間を活用し、岩谷堂筆筒の入札会を7月と12月に実施し、岩手の伝統的工芸品を紹介宣伝した。
- ・盛岡市観光課の事業で当センターロビーに設置された電子掲示板を活用し、来場者に対して、盛岡地域の観光・物産を紹介宣伝した。
- ・展示即売室に「修学旅行お土産コーナー」を設置したほか、事前に「修学旅行お土産最適品リスト」を配布し、岩手の特産品を周知した。その他、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、スムーズな買物ができるよう対応を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症により試飲や試食販売が困難であったため、商品の品質や特徴をPOPや商品説明の掲示で説明し、展示商品の魅力を実感してもらいながら買物ができる環境づくりに努めた。
- ・マルシェ直営ショップにおいて、旬の商品をメニューに取り入れ、紹介した。
- ・新型コロナウイルス感染症防止策として、展示即売室とマルシェのレジ周りに飛散防止フィルムを設置するとともに、店内や買物かごの消毒を適宜行うなど衛生管理に留意し、安心して買物を楽しめるよう取り組んだ。
- ・盛岡市の委託事業「もりおかエール便事業」では、盛岡市出身の若い年代層に地域特産品の魅力を改めて実感してもらえるよう、商品提案を行った。
- ・盛岡市の委託事業「特産品消費拡大支援事業」（商品30パーセント割引キャンペーン）では、新商品や新規出展事業者の開拓を行い、地場産品の振興に努めた。
- ・盛岡市の「市内特産品販売促進事業」では、盛岡市の文化・魅力を広く全国にPRできるように、インターネットショップ上でも事業を展開し、盛岡市の商品情報の発信に努めた。

## イ 物産展・展示会への出展

### <全国センター等>

10月 「今治地域地場産業振興センター」 県外委託販売

11月 「山口・防府地域工芸・地場産業振興センター」 県外委託販売

### <県内>

9月9日～22日 「もりおか味と工芸展2020」 出展（川徳）

11月13日～12月20日 「盛岡りんごフェア」 出展（前潟イオン）

### <県外>

7月2日～5日 「うまいもの 盛岡フェア」 出店（イオン板橋）

11月12日～16日 「盛岡デー・イン・沖縄」 出展（イオン琉球）

3月18日～22日 「東北のうまいもの」 出展（イオン板橋）

### <常設展示>

4月～3月 「イオン盛岡・もりおかん」 常設委託販売

4月～3月 「もりおか歴史文化館」 常設委託販売

4月～3月 「もりおか啄木・賢治青春館」 常設委託販売

4月～3月 「つなぎ温泉観光協会」 常設委託販売

4月～3月 「らら・いわて」常設委託販売

<ギフトカタログ>

6月～8月 「盛岡手づくり村・夏ギフト」

11月～12月 「盛岡手づくり村・冬ギフト」

<ふるさと納税謝礼品>

4月～3月 46件受注

<イベントスペース>

6月～8月 夏ギフトコーナー

8～11月 修学旅行 お土産コーナー

11～1月 冬ギフトコーナー

3月 春の卒業・新生活応援フェア

<ロビー>

7月、8月、12月、1月 岩谷堂箆笥入札会

<即売室棚替え>

工芸品コーナー

染物コーナー

<マルシェ>

岩手の酒コーナー

マルシェギャラリー

ウ インターネット（楽天市場「盛岡手づくり村オンラインショップ」）

※ 旧バーチャル盛岡市産業まつり

期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

内容：食品・工芸品等 約500アイテム出品

## (2) 体験学習事業

全国から訪れる来場者を対象に「体験学習」を実施した。伝統の技や製作工程を間近に見て、触れて、体験できるのは、盛岡手づくり村の最大の魅力であり、工房の職人の技を活用し、ものをつくる喜びや楽しみ、感動を体感できる手づくり体験を通して、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解を深めてもらった。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に目的地の変更等で初めて当施設を訪れた修学旅行団体に対し、次年度以降の再訪につながるよう、効果的な宣伝を行った。

（体験コース） 陶器、藍染、竹細工、わら細工、木工、はたおり、こけし絵付、陶器絵付、木の実細工、冷麺

- ・岩手県観光協会が札幌、函館、東京等で開催する教育旅行誘致説明会は新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止となった。
- ・修学旅行の事前調査のために来場する学校、団体等に対し、これまでの実績や体験メニュー等の情報を提供し、来場者の確保に努めた。
- ・盛岡広域圏内の小学校を対象に夏休みと冬休みに毎年実施していた「特別体験教室」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
- ・正月フェアでは、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、展示即売室の催事コーナーを利用し、繭細工の特別体験教室を開催した。

## (3) 展示資料室運営事業

盛岡地域の地場産業に対する理解を深めてもらうとともに、地場産業の振興・発展を目的に、国内外から訪れる来場者に対して、地場製品の歴史や生産技術、生産工程、製作者等を資料やパネルで紹介したほか、伝統的工芸品の展示を行った。また、広域8市町と連携し、盛岡広域圏内の地場製品の紹介を行った。

## 2 人材育成事業（公益目的事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図り、地場産業の活性化と振興に努めた。

- ・盛岡手づくり村ホームページ上で、手づくり産業の後継者等で構成する岩手山麓 40 の工芸工房の紹介を継続し、うち 13 工房の掲載内容の更新を行った。
- ・盛岡市が制作した「歩いて 紡いで もりおか物語」のダイジェスト版「ものづくり編」を盛岡手づくり村ホームページ上にバナーを設け、広く紹介を行うことで、盛岡のものづくりのPRを行った。
- ・ものづくり産業への理解とキャリア教育の推進に向けて、協同組合盛岡手づくり村や南部鉄器協同組合と連携し、盛岡広域内小学校 12 校、中学校 1 校への社会科見学の対応を行った。

## 3 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合、自動販売機業者及びホームページでの広告宣伝等により一般への施設賃貸を行い、センター運営に必要な収益の一部とした。

- ・南部鉄器協同組合への貸し付け（事務所、倉庫）
- ・自動販売機業者への貸し付け（㈱サンベンディング盛岡、みちのくコカ・コーラボトリング㈱）

## 4 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設け、収益性の高い商品やアロニア関連商品の販売を行い、収益の拡大を図った。

### (1) 盛岡手づくり村「マルシェ」の運営

- ・マルシェにおいて、業界関係者の新商品の普及宣伝、広域市町の特産品の普及宣伝などを実施した。また、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじえら？」や「アロニア商品」を活用した新メニューを考案し、普及宣伝に取り組んだ。
- ・マルシェ内に陶芸作家の作品の展示スペースを設け、地域の工芸品の紹介宣伝を行った。また、作家の作品や展示即売室で購入可能な食品・工芸品を使用し、コーヒー等の提供を行った。
- ・盛岡広域で作られる清酒や地ビール等と合わせ、地場製品の「おつまみセット」を展示販売し、購買意欲の向上につながるよう工夫した。
- ・即売室と連携して、話題の商品や新商品をマルシェメニューに取り入れ、販売に結び付くよう工夫した。

### (2) アロニア関連商品の開発・販売

アロニアを使用したジャム、ドリンクなどの製品のラベルデザインを改め、もりおかベリーのイメージ定着を図るとともに、人気商品であるサイダーやジャムの販促活動を行った。

- ・アロニア製品の製造販売（ジャム、サプリメント、ジュース、カレー等）
- ・アロニアの認知度を向上し、購買の機会につながるよう、新規格 85 g のアロニアジャ

ムを発売した。

- ・盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじえら？」に「アロニア」味を追加した。当商品は盛岡手づくり村限定であるため、消費者に関心を持っていただき、アロニアの普及宣伝につながった。

## 5 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者が共有する施設の維持管理を行った。

## 6 南部曲り家地場産品普及宣伝事業（その他の事業）

本事業は、国内外から訪れる観光客に対し、地場産業や地域文化への理解を深めることを目的に工芸品の製作実演や工芸品展示会等を行うものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止とした。

## 7 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館や来場客の激減による運営状況の悪化に対して支援を行う盛岡市の新型コロナ緊急対策事業を受託した。

### (1) もりおかエール便事業（盛岡市委託事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、帰省やアルバイト等に制限を受けた盛岡市出身で県外在住の学生1,500人に対し、盛岡三大麺など地元の特産品を詰め合わせた「もりおかエール便」を無償で送付し、物的支援を行うとともに、感染症の影響により事業活動への支障が生じた食品製造業等の特産品事業者に対して、消費の拡大及び商品認知度の向上を図り、経営的な支援を行った。

- ・盛岡手づくり村ホームページとFacebookにおけるもりおかエール便事業の周知
- ・もりおかエール便の募集、受付、審査
- ・もりおかエール便の送付

### (2) 特産品消費拡大支援事業（商品30パーセント割引キャンペーン）

盛岡地域地場産業センター展示即売室とインターネットショップにおける特産品の割引販売の受注管理と発送業務等を行った。

- ・インターネットショップ（楽天市場）の「盛岡手づくり村」（旧：バーチャル盛岡市産業まつり）のページ改修を行い、WEBによる受注を行った。

## 8 交流促進事業（その他の事業）

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に開催を予定した次の季節イベントは、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行によりすべて中止した。

- ・盛岡手づくり村春まつり 2020 （5月）
- ・盛岡手づくり村夏まつり 2020 （8月）
- ・盛岡手づくり村秋まつり 2020 （10月）
- ・盛岡手づくり村冬まつり～いわてのお酒 冬の陣～（2月）

## 9 管理運営事業（法人会計事業）

当振興センターは、盛岡地域の地場産業振興と観光の拠点施設として、国内外等からの来場者に利用されているが、令和2年度は例年同様に施設の環境整備や施設維持管理等を行ったほか、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、来場者や職員の感染防止に努めた。その他、盛岡広域の地場産業や観光に関する情報共有を目的に、盛岡広域8市町の担

当課長で組織する広域活性化懇談会を開催し、情報交換を図った。さらに周辺施設との連携による誘客促進や旅行代理店向けの広告宣伝等を行った。

**(1) 振興センター入場者への宣伝・紹介**

- ・入場者等への案内、説明、誘致宣伝活動
- ・観光客、視察来訪客への案内、説明
- ・ホームページのリニューアル
- ・英語、韓国語、中国語、タイ語のパンフレットの配付
- ・日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語による施設案内放送の実施
- ・旅行代理店との提携による来場者の誘致、パンフレット送付等
- ・電子掲示板を活用した観光、物産、施設等の紹介
- ・マスメディア利用による宣伝、普及活動
- ・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等への広告、情報提供、取材協力

**(2) 理事会・評議員会の開催**

開催年月日	会議名	会場	内容
令和2年6月1日	第1回理事会	書面開催	平成31年度事業報告・収支決算、規則の一部改正、定時評議員会の開催ほか
令和2年6月17日	第1回評議員会	地場産業振興センター	平成31年度事業報告・収支決算、理事・評議員の選任ほか
令和3年3月10日	第2回理事会	盛岡市勤労者福祉会館	令和2年度補正予算、令和3年度事業計画・収支予算、定款・規則等の一部改正、定時評議員会の開催ほか
令和3年3月26日	第2回評議員会	地場産業振興センター	令和2年度補正予算、令和3年度事業計画・収支予算、定款・規則等の一部改正、評議員の選任ほか

**(3) 職員研修の実施**

- ・新採用職員研修 5月
- ・パートタイム・有期雇用労働法説明会 11月

**(4) 盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会の実施**

盛岡広域8市町の広域経済の活性化を図ることを目的に、広域市町の課長で組織する盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会を令和3年2月17日、当センターで開催し、情報の共有と意見交換を行った。

**(5) 盛岡広域内の情報提供の実施**

玄関ロビーに設置した「盛岡広域インフォメーション」を活用し、来場者に対して盛岡広域8市町の観光行事等を紹介した。(通年)

**(6) 電子掲示板による紹介**

盛岡市に寄贈され、当センターロビーに設置された電子掲示板を活用し、盛岡地域の観光・物産情報や盛岡手づくり村の紹介宣伝に加え、新型コロナウイルス感染症対策の告知等を行った。

#### (7) 施設内の環境整備

- 4月 一斉清掃、春のプランター整備
- 9月 秋のプランター整備

#### (8) パブリシティ

##### <新聞、雑誌等>

- 4月2日(木) 岩手日報 「鉦工房 師匠から承継」
- 4月24日(金) 盛岡タイムス 「新型コロナで5月6日まで休館」
- 4月28日(火) 岩手日報 「黄綬褒章 滝浦輝夫さん 藍にみせられた人生」
- 5月12日(火) 岩手日報 「南部鉄器の鉦職人 菊池翔さん」
- 5月31日(日) 岩手日報 「手づくり村あすから再開」
- 6月2日(火) 盛岡タイムス 「客足の回復に期待と不安」
- 6月7日(日) 岩手日報 「古里の味で元気に」盛岡エール便
- 6月8日(月) 盛岡タイムス 「故郷の味思い出して」盛岡エール便
- 8月5日(水) 岩手日報 「故郷からのエール便に感謝」
- 10月6日(火) 岩手日報 「地域クーポン券で明暗」
- 11月19日(木) 岩手日報 「感染予防必携手拭 手づくり村で販売」
- 12月3日(木) 盛岡タイムス 「手づくり村の商品購入時に3割引き」

##### <テレビ等>

- 7月30日(木) 岩手めんこいテレビ ニュース「コロナ対策」
- 8月5日(水) 岩手めんこいテレビ 「山海漬」鉦工房取材
- 9月10日(木) IBC岩手放送 ニュース「南部鉄瓶の取っ手職人」
- 10月5日(月) フジテレビ とくだね「Go To 共通クーポン」
- 10月31日(土) 岩手朝日テレビ 「いいこと」生放送(染・鉄器・冷麺)
- 1月4日(月) 岩手めんこいテレビ ニュース「お正月フェア」
- 1月4日(月) 岩手朝日テレビ ニュース「お正月フェア」